

装置筐体チーム

<氏名> 二川 真士 <役職> チームリーダー <所属> 株式会社デザインネットワーク

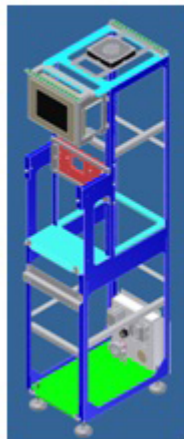
<開発内容>

装置筐体チームは、デザイン&外形寸法が統一されたミニマル装置に共通して使用できる装置標準筐体を開発します。装置内部の実装性やメンテナンス性に優れ、量産性を含めたコストパフォーマンスの高い筐体技術の開発を進めます。さらに、ユーティリティ接続方式や床ドッキング構造、シャトル自動搬送装置との整合を図り最適化します。

<自己紹介>

1980年 京都工芸繊維大学 工芸学部 機械工学科卒。同年、日本電気株式会社入社。日本初の光海底ケーブル中継器や海底地震計などの開発に従事。平成7年株式会社デザインネットワーク設立時に入社し、銀行 ATM などの開発に従事。ミニマル装置筐体開発を通して、新しい”ものづくり” ”ことづくり” を目指す。現在、開発企画室 部長。技術士（機械部門）。

フレーム Assy



標準外装パネル



<氏名> 安保 忠保

<役職> サブリーダー

<所属> サンヨー株式会社

<開発内容>

装置筐体チーム・チームリーダーの項目を参照して下さい。

<自己紹介>

群馬高専電気工学科卒。同年、サンヨー株式会社入社。主に精機製品・流体制御機器・半導体製造プロセス向け部品等のプラスチック射出成形金型の製作に従事。平成21年、高周波溶着器の開発に従事し、翌年、PFA 超音波流量計の溶着プロセスラインを立ち上げる。ミニマルファブ開発ではファクトリー技術開発をもって真のイノベーション創出を目指す。